２０２６年１０月１８日 聖霊降臨後第二十一主日礼拝説教
「救いのために選ばれし者」（イザヤ４５章１～７節）

○イザヤ４４章２４～４５章１３節

ユダの民がバビロンに捕えられた後、やがて、ペルシアの王キュロスによって、再び国へ戻されることが語られている。

○イザヤ４５章１節

「＊主が油を注がれた人キュロスについて」

＊神が、ご自身の御心を成し遂げるために選んだ者

○イザヤ４５章４節

「わたしの選んだイスラエルのために わたしは あなたの名を呼び、称号を与えたが」

「わたしは あなたに力を与えたが、あなたは知らなかった。」（５節）

＊選びの民を救うため、神は、キュロスを用いられた。

今日のみことば：イザヤ４５章７節 ＊創造：あることを許される

「光（ひかり）を造（つく）り、闇（やみ）を創造（そうぞう）し　平和（へいわ）をもたらし、災（わざわ）いを創造（そうぞう）する者（もの）。わたしが主（しゅ）、これらのことをするものである。」

❶闇：やみのうちにあるもの、命の終わり、心の暗さや迷い

❷災い：神との平和がない、御怒りや厳しい罰を受けること

※油注がれた者によって、まことの光と平和が訪れる。

○イザヤ６１章１節 ＊ルカ４章１８節で引用される

「主は わたしに油を注ぎ 主なる神の霊が わたしをとらえた。わたしを遣わして貧しい人に 良い知らせを伝えさせるために。打ち砕かれた心を包み 捕らわれ人には自由を つながれている人には 解放を告知させるために。」

○ルカ４章２１節

「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」

問：油注がれたイエスが、救いを与えるためにしたことは？

☞光の代わりに闇を、平和と引き換えに災いを受けられた。

＊聖書翻訳本文は日本聖書協会『聖書 新共同訳』からの引用です。